

ご使用方法



VTT 粘膜モデルに電気メスでマーキングをし、マーキング箇所を水性ペンで目立たせます。



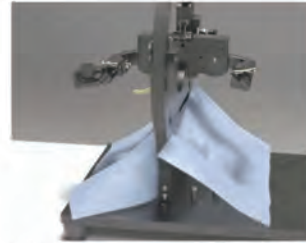
粘膜保持アームを SET 位置に戻し、4箇所クリップで VTT 粘膜モデルを固定します。



練習したい部位に応じて、セッティングシートを参考に各箇所を調整します。



VTT 粘膜モデルと電気メス本体を付属の対極ケーブルで接続します。



VTT 専用膨隆液による汚れを防ぐため、適度な大きさにカットした覆布でカバーします。



トレーニングを行います。ご使用後の VTT 粘膜モデルは一般ごみとして廃棄してください。



付属のブラシ等をご使用の上、水洗い及び拭き取りで洗浄してください。

注意

本体に付着した液等を放置すると固まって故障の原因となります。

製品スペック

製品名	G-Master	サイズ	W 635 x D 300 x H 310 mm
製品番号	GM0001	重量	約 7.5kg
JAN コード	4562480971066	梱包サイズ	W 750 x D 410 x H 430 mm
商品構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ G-Master 本体 x 1 点 ・ VTT 専用膨隆液 x 1 点 ・ 水性マーカー x 1 点 ・ ヘラ x 1 点 ・ VTT 用対極ケーブル x 1 点 ・ 取扱説明書 x 1 点 ・ VTT 粘膜モデル x 3 点 ・ 洗浄ブラシ 2 種類 x 各 1 点 ・ セッティングシート 11 種類 x 1 点 		

下記消耗品のご購入は、G-Master 本体をご購入いただいた商社様・代理店様にお問い合わせください。尚、弊社直営の通販サイト【腹腔鏡トレーニングボックスのお店】でもご購入いただけます。

VTT 粘膜モデル
6,000 円 (税抜)



VTT 専用膨隆液
1,200 円 (税抜)



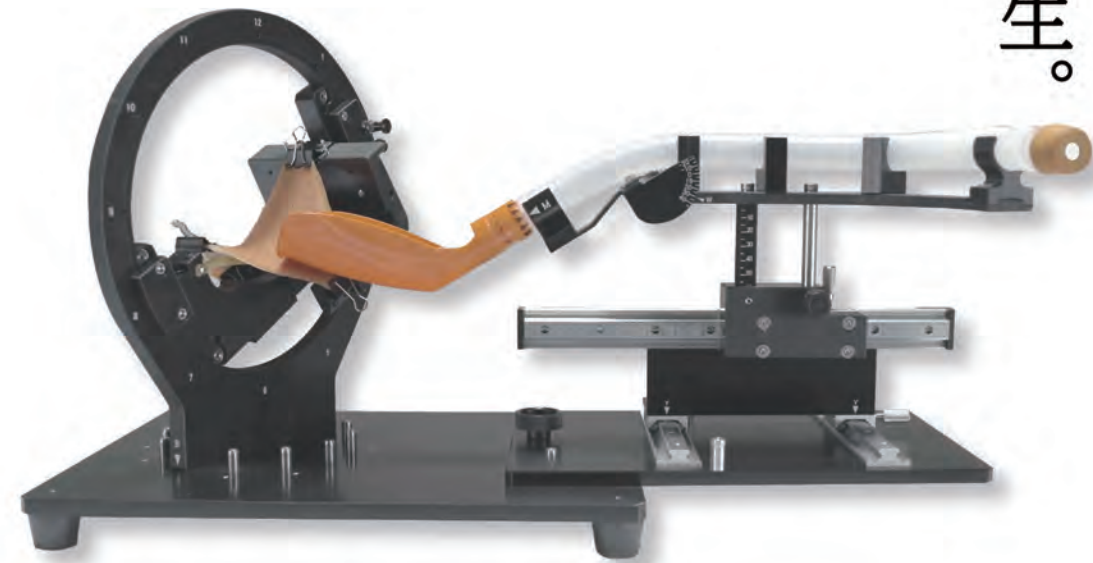
VTT 用対極ケーブル
2,500 円 (税抜)



ESDトレーニングシステム
G-Master

次世代型

誕生。
システム、
ESDトレーニング



KOTOBUKI
Medical

U R L : kotobukimedical.com
M a i l : info@kotobukimedical.com
運 営 元 : KOTOBUKI Medical 株式会社

〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚 190-2 Tel:048-951-5211 Fax:050-3588-1032



国立がん研究センター
東病院
National Cancer Center Hospital East



KOTOBUKI
Medical

KOTOBUKI Medical 株式会社

『G-Master』は、国立がん研究センター東病院と KOTOBUKI Medical 株式会社の共同開発製品です。(特許出願済)

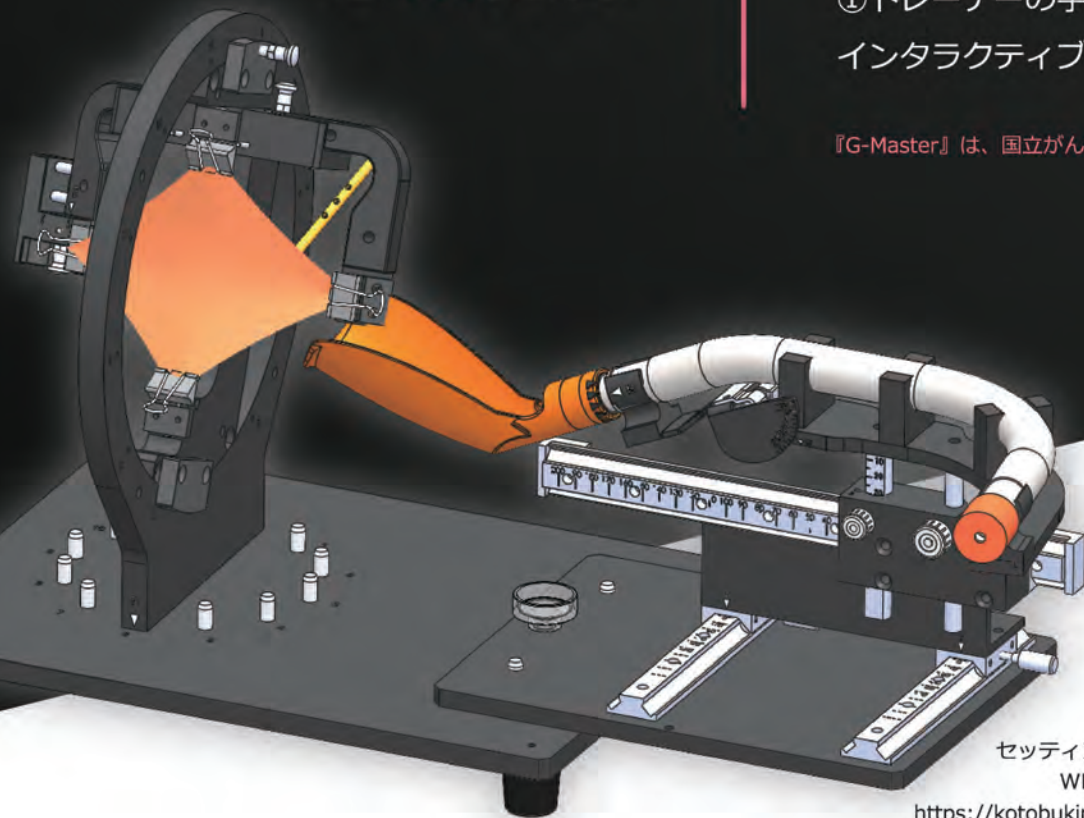
まるで本当の ESD。次世代型 ESD トレーニングシステムが誕生。

代表的な胃がん発生部位を柔軟に再現できる『G-Master』に、植物由来の手術トレーニング用模擬臓器・VTT(Versatile Training Tissue) の粘膜モデルをセットし、VTT 専用膨隆液を用いることで、局注、切開、剥離までの一連の流れを臨床に近い形で効果的にトレーニングいただけます。

個人でじっくりと研鑽を積むのはもちろんですが、内視鏡の動きを外部から多角的かつ子細に確認できることから、①トレーナーの手技を学び、②トレーナーの手技へのフィードバックを行う、インタラクティブなトレーニングにも最適です。

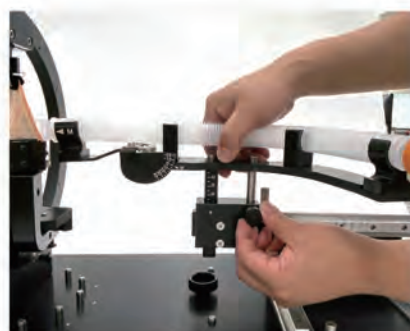
『G-Master』は、国立がん研究センター東病院と KOTOBUKI Medical 株式会社の共同開発製品です。(特許出願済)

ESDトレーニングシステム
G-Master



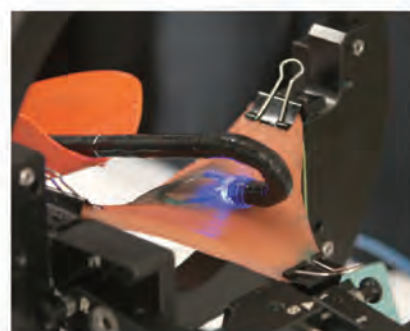
セッティングシートや動画、取扱説明書などは
WEB サイトで詳しくご覧いただけます。
<https://kotobukimedical.com/esd-training/G-master>

G-Master の 3 つの特徴



代表的な胃がん発生箇所を柔軟に再現できる調整機構。

国立がん研究センター東病院監修の 11 種類のセッティングシート付で、初心者も安心。



胃壁を必要な箇所だけ部分的に再現することから、**外部から内視鏡の動きがよく見える。**



胃壁を再現する VTT 粘膜モデルは植物由来。**衛生的でトレーニング場所を選ばず、トレーニング後も一般廃棄が可能。**



国立がん研究センター
東病院
National Cancer Center Hospital East



『G-Master』の開発において、当院スタッフやメンバーが時間をかけて胃のさまざまな部位の再現をしてくれた。試行錯誤の結果、国立がん研究センター東病院の ESD の治療戦略やストラテジーが盛り込まれた、非常に良い製品になったと思っている。

消化管内視鏡科長 (内視鏡センターセンター長 兼任) 矢野 友規
YANO Tomonori

今回開発した『G-Master』は再現性がコンセプト。従来の動物モデルや合成樹脂などの非動物モデルではできなかった胃のさまざまな部位を再現できる機構にしたことで、初心者だけでなく、今までなかった中級者へのトレーニングモデルとしても良い製品となった。



医長 (NEXT 医療機器開発センター 内視鏡機器開発室 兼任) 依田 雄介
YODA Yusuke



限られた症例数の中で、どれだけラーニングカーブの傾きを上げていくかということは、医師にとっても患者にとっても重要である。『G-Master』を使えば、治療にあたる患者の胃がん発生部位を事前に再現して練習できること、また術後に復習もできることから、一症例でのラーニングカーブが各段に上がる効果が期待できる。

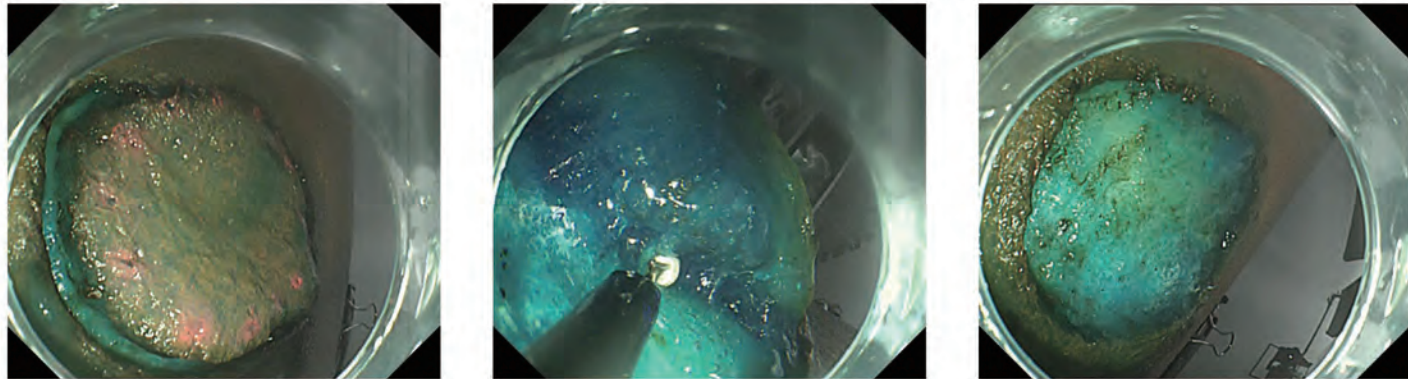
がん専門修練医 砂川 弘憲
SUNAKAWA Hironori

「ESD の技術を磨くためにこんな製品があったら良いな」というモデルがまさに出来上がったという印象を持っている。『G-Master』を使って手術前にトレーニングしてから実際の手術に臨むことで、患者によりスムーズで安全な治療を提供できるという効果が見込まれる。



がん専門修練医 三井 智広
MITSUI Tomohiro

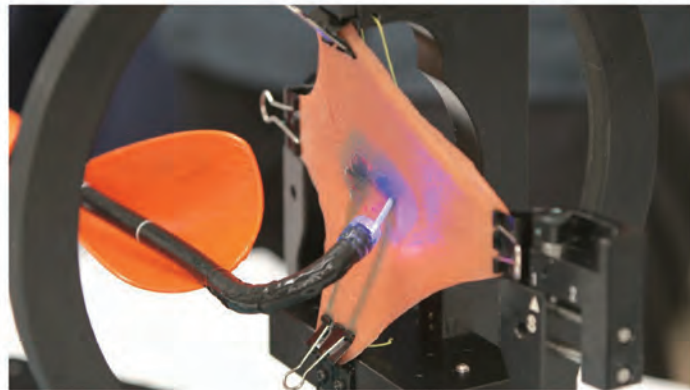
使用イメージ



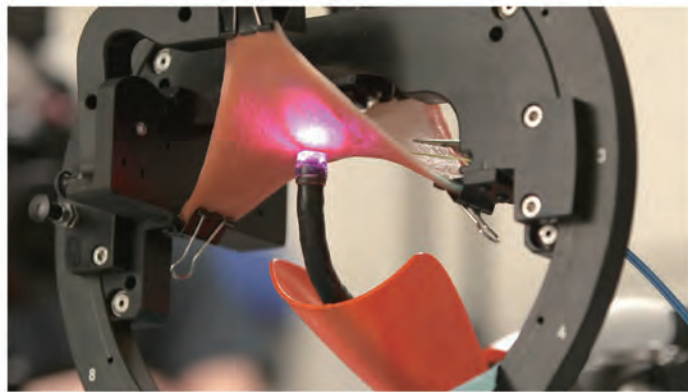
胃壁を再現するVTT粘膜モデルにVTT専用膨隆液を局注、切開、剥離した様子。



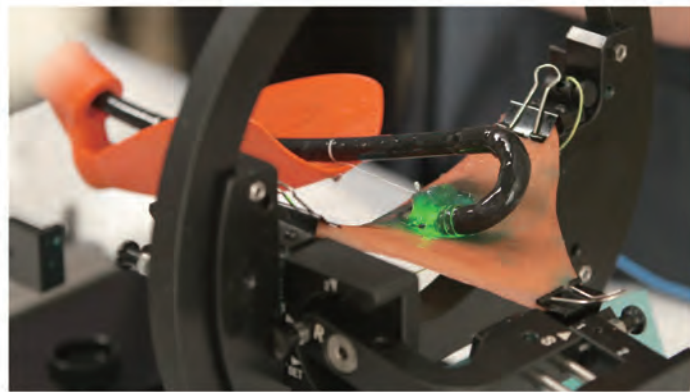
リアルなESDトレーニングを体感。



胃体下部前壁のセッティング。



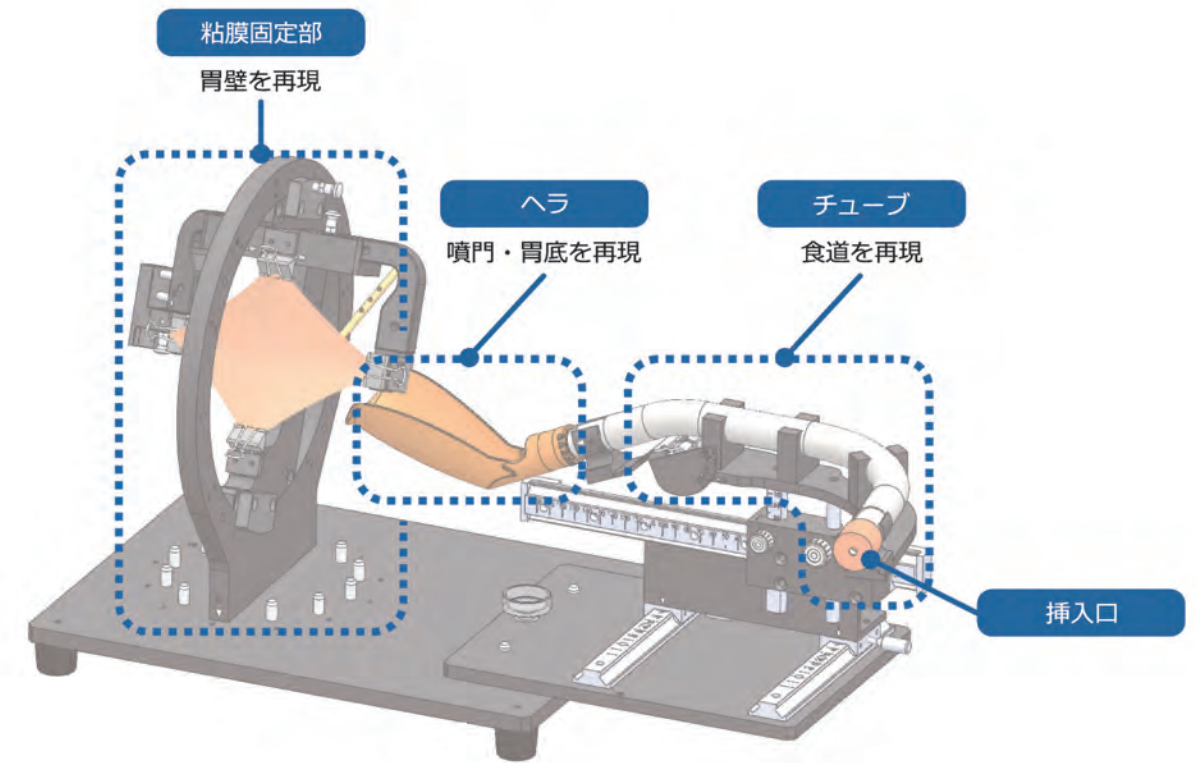
胃角小弯のセッティング。



胃体下部大弯のセッティング。

構造

2種類の脱気機能と、稜線再現機能付。
ヘラは取り外し可能です。



可動箇所

各調整機構によって
さまざまな胃の部位を再現。

